



20 「アフリカの草原」引っ越しからオープンまで…

2013.6 執筆

2011年春に新「京都市動物園構想」の第一弾である「おとぎの国」がオープンしました。2013年春にオープンした「アフリカの草原」は「おとぎの国」の隣ですので、旧キリン舎の周辺は2011年から風景がコロコロと変わっていきました。

大規模な工事なので、当然のことながら様々な重機が入ったり、大きな騒音がしたり、振動がしたりとキリンたちにとっても落ち着かない日々が続きました。

幸いにも、当園のキリンたちは日頃から知らない人や音、重機など非日常のものに驚かないようにするため、あえてそれらを避けずに体験させるようにしてきたためか、工事による周囲の変化にもさほど動じずに過ごしてくれました。おかげで私たち飼育員は本当に助かりました。

とはいえ、今回の引っ越しは長期であり、キリンを始めとする動物たちも私たちスタッフもかなりたいへんだったのです……。京都市動物園は2013年に開園110周年を迎えた古い動物園です。敷地も狭く、余裕がないため今回のリニューアルは本当に苦労しています。特に、大型獣の移動は仮の動物舎を作るわけにもいかないため、まずは引っ越し先を先に作らなければ引っ越せないのです。キリンの場合は、旧キリン舎も「アフリカの草原」の一部であるため、まずはキリンたちを新しいキリン舎に引っ越しさせ、その後に古いキリン舎を壊さなければならぬため、引っ越してからもすぐ隣でひたすら工事が続きました。キリン、シマウマ、カバが引っ越しした時点ではそれぞれの動物舎はできているものの、グラウンドの一部や、他の動物舎、園路などの工事が続きました。

「アフリカの草原」に一番に引っ越してきたのはグレビーシマウマのキララ。周囲は工事中、しかも新しく見たこともない部屋に入れられ周囲は見えない、さらにいつも一緒にいたライラ母さんと離れ離れ・・・コドモであり、群れで生活する動物であるシマウマにとっては辛い状態でした。しばらくしてグラウンドに出た時は、ずっとキリンたちのいるエリアの柵越しで過ごしていたのを覚えています。キララ、よくがんばりました！

次に越して来たのは3頭のキリンたち。その様子は⑪の引っ越し大作戦でご紹介しま

したのでここでは省略。その6日後にカバのツグミちゃんが引っ越してきました。大雨の日でした。ツグミちゃんは生まれて初めてのお引っ越しということでかなり緊張していた私たちでしたが、当のツグミちゃんは輸送箱に入るのも、クレーンで釣られるのも、こちらの気が抜けるくらい落ち着いており、それどころか箱の中でバクバクエサを食べていました。お引っ越しの後も、カバ舎のすぐ横で行われている工事を怖がるどころか、興味深そうに見ている姿が印象的でした。

キリンたちが引っ越してきてからオープンまでは4ヶ月半もあります。その間、ギリギリまで工事が続いていました。いまでは広いグラウンドですが当時は今のグラウンドの4分の1ほどのスペースを囲っていたのでとても狭い仮グラウンドでした。単管パイプでの仮柵もあり、形状が変わるたびにキリンたちがケガをするような箇所はないか、キリンたちの力が加わった時に破損しないかなど毎回念入りにチェックをしました。

キリン舎内の設備もおおかた出来てはいましたが、細かいところの工事ややり直しなどは毎日のようにありました。

キリンとシマウマ、カバがお客様に見てもらえなくなって2ヶ月経っているので、「アフリカの草原」がオープンする4か月前の12月8日に一部公開となりました。すると、今まで非公開だったのでお客様のことは考えずに引っ越しのバタバタに対応できたのが、今度はバタバタが続いているにもかかわらず、見ていただくための状態を維持しなければいけないという作業も加わってさらに忙しくなりました。

何しろ、全くの初めてのことでですので勝手も分かりませんしとにかく大変だったことしか覚えていません。

動物たちの住むところであり、お客様に展示するところでもあり、私たちスタッフが作業する場でもあるところですから、それぞれのことを考えなければいけません。でも、一番に考えるのはそこで過ごす動物たちの安全です。慣れない場所でケガをしないか、精神的なことで元気がなくなってはいないかなど常に気を遣っていました。

キリンは多くの動物の中でもかなり体に特徴がある動物です。あの背の高さ、首や脚の長さ、細さ。これらの特徴を持つ動物ですから、動物舎には一層気を遣います。動物園のキリンは事故がきっかけで死亡する例が少ないのです。事故の多くはあの長い首や脚を狭い隙間に入れてしまい、抜けなくなって死亡する「挟む事故」、そして、足を滑らせて倒れてしまいその際頭を強打したり、頸椎を痛めたり、脚を傷めてしまって立てなくなったりなる「滑る事故」です。

今回、新しい獣舎になり本当に隅々までいろいろチェックをしましたし、チェックしてもまだ心配は尽きませんでした。そんなことも含め、オープンまでには様々な仕事

ありました。

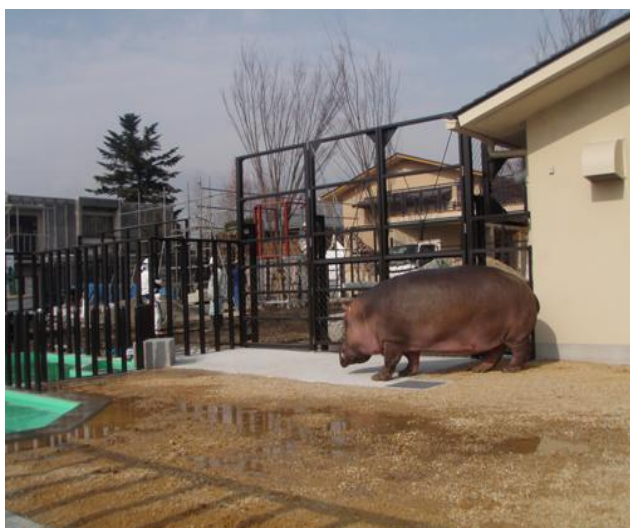
そして今や珍しくはありませんが、当園では初となるキリンとシマウマの混合飼育。これはオープンから2ヶ月経った今でも完全な混合飼育ができていません。広いグラウンドにキリンとシマウマが一緒にいる姿はなんともステキなのですが、そこに至るまでには多くの苦労がありますし、一緒に展示できた後でも様々な問題が出てくるのです。種類ごとの問題もあれば、個体としての問題もあって今は1頭のシマウマがキリンたちに咬んだり蹴ったりする時があって安心して同居することができない状態です。そんな最中キリンにアカチャンが誕生し、ますます同居が困難になってきたのです。お客様の中には、キリンとシマウマは同じ草食獣ですし一緒に飼育することはそんなに難しくないと考えている方も多いように見受けられますが、実は種や個体の性格によっては安心して一緒にできない組み合わせもあるのです。

そんなこんなでバタバタだった「アフリカの草原」が4月6日になんとかオープンしました。一生懸命頑張ったのに、オープン当日は大雨、いや嵐……。お客様もわずかで、これには本当にかっかりしました。多くのお客様が駆け付け、今までの苦労が吹き飛ばすようなオープニングセレモニーを期待していたのに……。

そんな悲しいオープニングを経て、やっと新施設「アフリカの草原」が皆様にお披露目となったわけです。

まだ新しく出来た施設は動物も植えられた植物も馴染んでおらず、それはこれから長い年月をかけて完成させて行くものだと思っています。そうです、「アフリカの草原」はこれからなのです！！

ここまでとてもたいへんでしたが、貴重な経験ができたこと、1つの物を作り上げて行く過程に携われたことをありがたく思っています。



カバのツグミ（メス）

奥に見える黄色の建物が新キリン舎、左奥に見えるグレーの建物が旧キリン舎。その間を始め、カバ舎周囲ではまだ工事が続けられている。



ワイヤーロープ越しにふれあうキリンとグレビーシマウマ

仮グラウンドでのキリンたちと解体前の旧キリン舎



仮グラウンドの状態は何度も姿を変えていった

